

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

B区分

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんすたーだんさーず・ばれえだん 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 法眼健作		
制作団体所在地	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 (東京メトロ銀座線外苑前駅)		
電話番号	03-3401-2293	FAX番号	03-3401-2252
ふりがな 公演団体名	すたーだんさーず・ばれえだん スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	総監督 小山久美		
公演団体所在地	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 (東京メトロ銀座線外苑前駅)		
制作団体 設立年月	昭和56(1965)年 3 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 法眼健作 常務理事 小山久美 その他理事 4名 監事 1名 評議員 5名 事務職員 4名	1) 団体構成員 50名 2) 主な構成員 【総監督】小山久美 【バレエ・ミストレス】小山恵美 【バレエ・マスター/常任振付家】鈴木稔 【団員】渡辺恭子、塩谷綾菜、池田武志、林田翔平 他 加入条件: 総監督、バレエ・ミストレスらの審査による。	

事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	小山久美、平野友里恵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	須藤陽子

制作団体沿革	<p>太刀川瑠璃子を代表として昭和40年に創立。昭和56年には日本のバレエ団初の財団法人化を果たし、平成24年に公益財団法人となった。</p> <p>邦人振付家の作品の上演に力を注ぐ一方、アントニー・チュウダーをはじめとする海外の優れた近代バレエ作品を日本に紹介し、常に日本のバレエ界の発展を念頭に歩みを進めてきた。これまで年2～3回の自主公演、文化庁の移動芸術祭・青少年芸術劇場を実施し、近年では戦略的芸術文化創造推進事業やその他のワークショップやアウトリーチ等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。海外公演は昭和61年北京での日中合同公演、平成5年ソウル国際舞踊祭、平成14年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘公演、平成19年上海・南京公演、平成22年上海万博公演、令和元年パリJapan Expo公演等の実績がある。令和2年には創立55周年を迎えた。</p>
--------	---

学校等における 公演実績	<p>芸術鑑賞教室 学校からの依頼による「芸術鑑賞教室」を実施。</p> <p><実績例></p> <p>平成17年「ジゼル」東京女学館 昭和女子大学人見記念講堂 平成18年「ジゼル」吉祥女子中学高等学校 府中の森芸術劇場 平成23年「コッペリア」東京女学館 ゆうほうとホール 平成29年「ジゼル」跡見学園中学校・高等学校 東京文化会館</p> <p>ワークショップ等アウトリーチ活動 子どもを対象としたアウトリーチ活動を展開。</p> <p><実績例></p> <p>平成17～26年度 東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校などでワークショップや小規模公演を実施。</p> <p>平成26年度～継続 小田原市内小学校にて公演及びワークショップを実施。</p> <p>平成27年度～継続 特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」において小学校でのワークショップを担当。</p>
-----------------	---

特別支援学校における 公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」において1校実施。 実施校:北海道余市養護学校しりべし学園分校 ■ 平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演)」において1校実施。 実施校:兵庫県篠山市立篠山養護学校 ■ 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において1校実施。 実施校:福井県立奥越特別支援学校 ■ 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において1校実施。 実施校:福井県立南越特別支援学校 ■ 平成28年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において2校実施。 実施校:金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校、富山県立にかわ総合支援学校 ■ 平成29年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において2校実施。 実施校:北海道鷹栖養護学校、岩手県立宮古恵風支援学校 ■ 平成30年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において2校実施。 実施校:茨城県立霞ヶ浦豊学校 <p>このほか、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラム「We Ballet! (ウィー・バレエ)」を開発し、平成28年より実施している。</p>
--------------------	--

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL	第1部	https://www.youtube.com/watch?v=QWTT0iZ-NSI	
			第2部	https://www.youtube.com/watch?v=AUwg8In6fRM	
			https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/dance/b19.html		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:		
			PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料			
※公開資料有の場合URL					
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID:			
		PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	シンデレラ			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>第1部「バレエって何だろう」 構成・演出 小山久美</p> <p>第2部「舞台をみてみよう」 『シンデレラ』 原作:シャルル・ペロー 作曲:セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付:鈴木稔</p> <p>公演時間(80~100分)</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>●体育館の舞台を前方に張り出して上げ、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただけます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。</p> <p>第1部「バレエってなんだろう」 バレエについて実演を織り交ぜながらやさしく説明し、次に続く第2部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーもあります。</p> <p>第2部「シンデレラ」 子どもにも親しみやすい演目として「シンデレラ」を上演します。美しいプロコフィエフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として約45分にまとめました。途中にはあらずし解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快なシーンや、涙がほろりとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。</p>			
演目選択理由	<p>●1部、2部を通して、「人と人が心を通い合わせることの素晴らしさ」をテーマに演目を選択しました。言葉に頼らない表現形態であるバレエならではの、頭で理解するのではなく心で感じる体験を通して、豊かな心を育む一助となることを願っています。</p> <p>●「シンデレラ」は、そのストーリーに誰もが一度は触れたことがあり、非常にわかりやすい演目です。バレエに馴染みのない人でも無理なく楽しんでいただけると考え選択しました。 また、「シンデレラ」の物語には、喜びや悲しみ等の様々な感情が含まれます。身体の動きと表現を通して喜怒哀楽を心で感じることができるため、子どもたちの想像力を刺激し、伸ばすために最適な演目と考えます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【小学生との共演】 『シンデレラ』の一場面、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台上上がり、演技に参加します。12時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。</p> <p>また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。</p>			
	<p>【中学生との共演】 公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方など互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらうよう導いていきます。</p>			
	<p>【その他の参加・体験】 バレエの動きを紹介する公演の第1部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。小学生は男性に高く持ち上げられるリフト、中学生は男性が女性をエスコートして支えるパートナーリングに挑戦してみます。</p>			
出演者	スターダンサーズ・バレエ団員(別紙参照)			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 30 名	機材等 運搬方法	積載量: 4 t	
	スタッフ: 25 名		車長: 10 m / 車高 3.80 m	
	合計: 55 名		台数: 2 台	

【公演団体名 **スターダンサーズ・バレエ団** 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間		6	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:30	13:30～15:10	10分	15:30～18:00	18:00
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		約50名(100名程度でも実施可能です)			
	本公演		上限なし(収容できる範囲)			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>講師 計6名(振付・演出家1名、指導助手5名)</p> <p>対象人数 上限約50名 ただし、クラス単位、学年単位など選別方法は学校側にお任せし、50名以上での参加をご希望の場合は可能な限り対応します。</p> <p>内容 ① 自己紹介、バレエのデモンストレーション(バレエってどんなもの?) ② バレエの挨拶、ポジションや動きに挑戦してみよう! ③ バレエの表現方法とは?(セリフつき、ジェスチャーのみ、バレエの3パターンでのお芝居を通して、言葉のないバレエの表現方法を理解する) ④ 実際に身体を使ってやってみよう!(バレエのステップに挑戦) ⑤ 本公演「シンデレラ」共演者の選抜 まずはダンサーの実演を間近で見ると身体による表現を理解していただき、次は一緒に楽しく身体を動かしていきます。そして、その動きを取り入れながら、公演で共演する部分を創り上げていきます。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>・バレエにおける知識を活用して、児童・生徒の皆さんのがのびのびと自由に表現できるように指導します。「言葉で伝えること」と「身体の動きで伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。</p> <p>・本公演で出演する児童・生徒にとっては、照明や装置が入った大きな舞台上でダンサーたちと共演し、さらに観客の前で自分を表現することは貴重な体験になるでしょう。「自分の表現が人にわかってもらえるように」工夫し、見る側にとっては「人の表現をわかってあげようとする」ことがポイントです。人と人が気持ちを伝えて分かり合える喜びを共有したいと思っています。</p>					

<p>特別支援学校での 実施における工夫点</p>	<p>本公演について ・第2部の「シンデレラ」は十分にわかりやすく誰でも楽しめる内容に創られているため、これまで担当した特別支援学校においても同様に上演しています。児童生徒の共演部分については、各校のご希望を伺った上で有無を決定します。 ・第1部はご相談の上、時間を短縮して上演します。体験コーナーでは、腕や手を使って着席したままできる身体表現を全員で体験し、第2部の鑑賞へとつなげます。</p> <p>ワークショップについて ・ワークショップでは、ダンサーの実演を間近で見、音楽に合わせて一緒に身体を楽しく動かします。研修・経験を重ねた指導者が担当しますのでご安心ください。 ・指導者(ダンサー)と触れ合う時間をとるなど、学校側のご希望に柔軟に応じて適切なプログラムを構成することが可能です。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

本事業への申請理由

【公演団体名

スターダンサーズ・バレエ団

】

<p style="text-align: center;">B区分で事業を 実施するに当たっての 工夫や実施体制</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>子どものうちからさまざまな芸術に触れることは、人々が文化芸術を享受できる環境づくりに不可欠であり、あらゆる子どもたちに芸術体験を提供するために、学校という身近な場で体験ができる本事業の意義は非常に大きい。当団は「バレエと社会をつなぐ」ことをミッションに掲げており、身近に芸術に触れる機会を子どもたちに提供するこの事業には、現在大きな喜びとやりがいをもって全力で取り組んでいる。</p> <p>芸術鑑賞に加えて、「参加する」という部分が本事業の特徴である。参加することによって、子どもたちの好奇心の扉を開くことができる。そのために、テクニックを指導してその難しさを体感させるのではなく、子ども目線で「わかりやすく、おもしろい」内容であることを第一に考慮しながらプログラムを構成している。子どもたちの潜在能力を引き出し、芸術文化を親しみやすいものとして捉えるきっかけとなるような場を提供できるよう努めている。</p> <p>本事業の「文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図る」という目的に対して、言葉を使わずに身体で表現するバレエは、論理的に理解することが求められる授業科目とは違い、頭で理解するのではなく心で感じる経験を自然に生み出すことが可能である。SNSなどのツールの発達を一因とするコミュニケーション能力の低下が指摘されている昨今において、心で感じて理解しようとする体験は、子どもたちの想像力を刺激し、また言葉だけに頼らないコミュニケーションの幅と可能性に触れる機会にもなるだろう。子どもたちに歩み寄った環境のなかで本格的な鑑賞体験を提供することによって、誰もが芸術に触れ、様々な感じ方を体験する機会の創出が図られている。</p> <p>成長過程にある子どもたちの豊かな人間形成に寄与する事業を担うことの責任感を常に持ちながら今後も取り組んでいきたい。</p> <p>※昨年度に当団が実施した3校におけるアンケートの分析結果(日本バレエ団連盟の調査として実施)を参考資料として別添する。【リーフレット「バレエ鑑賞が子どもたちにもたらす心の動き」】</p>
	<p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>平成20年度以降の取り組みのなかで感じてきたことは、学校側にとって、あまり馴染みがあるとは言えないバレエ公演の実施は、わかりにくい点が多いということである。そのため、きめ細かく丁寧な事前の説明と対応を心掛け、以下の点を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最初は電話で直接対話をする。 <p>学校の先生は授業の関係で電話に対応できる時間が限られているが、ファックス等の一方的な連絡手段は、特に初期段階においてはなるべく使わない。そのほうが、細かい疑問なども拾いやすく誤解も生じない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● その後、事前に打合せが必要な内容を書面で送付し、ワークショップ、公演当日の流れについては写真を付けてわかりやすく説明する。 <p>「体育館におけるバレエ公演」「バレエのワークショップ」は先生方にとって、具体的なイメージを持つことが難しい場合がほとんどである。ワークショップの内容や公演準備については、写真とともに丁寧に説明し、その上でワークショップに臨む。ワークショップ終了後、あらためて打合せをして最終確認を行う。学校側が公演準備や児童生徒の対応等に不安を感じないよう、相互理解に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特殊な事情が生じる場合は、柔軟に対応し適切な対策を提案している。 <p>例)1.トラックの進入が不可能だったため、他校との共同開催を実施した。</p> <p>2. 生徒数が多すぎるため当初学校側は3～6年のみを対象に考えていたが、午前午後2回公演を提案し、全校生が鑑賞することができた。</p>

B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制

【公演団体名 スターダンサーズ・バレエ団】

<p>B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制</p>	<p>i) B区分に申請する理由</p> <p>子どもの成長過程において本事業が果たす役割の重要性を深く認識し、また事業の趣旨・目的に強く賛同しているため。平成20年度から10年以上に渡って本事業に参加してきた経験を活かし、事業の周知とさらなる活用推進に貢献したいと考え、申請する。</p> <p>ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫</p> <p>平成23年度から28年度までB区分として活動し、実施前調査を行うと同時に、すべての教育委員会を訪問してきた。その結果、複数年だからこそ得られる成果がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会の体制は地域によって異なる。熱心な担当者とは有意義な意見交換ができた。またその良好な関係は翌年に引き継ぐことができている。 ● 実施前調査を行うことによって、より確実に効果的な結果を導くことができている。 ● 校長、教頭が地域内で異動後、再度この事業を申請（同様に弊団を希望）するケースが見られた。 ● 校長同士の交流による広まりがみられた。前年に実施した校長の勧めにより、翌年度同じ地域内の他校による申請につながった。 <p>この事業について、その有効性や意義が広く認知され理解を得るためには、その評判が口コミを通じて伝わるのが一番確実なのではないか。そのためには教育委員会の指導主事、または校長などの立場におられる方が、その地域の他学校の先生方に対して、同じスタンスから伝えていただくことが最良ではないかと考える。我々としては、そのために学校や地域の事情を伺いながら丁寧に説明し、お互いの意思疎通を図るとともに、理解を深めていただくことが重要である。</p> <p>具体的に実施する点としては、各校長、教頭と意見交換をする時間を確保し、十分に理解し合えるよう心掛ける。更に、教育委員会でも情報を収集し、教育側から求められるニーズを分析したうえで、バレエによる具体的な実施方法を芸術団体側から提案していきたいと考えている。</p> <p><u>公演の質を向上させるための工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本格的なバレエを鑑賞する部分は、後半の45分とする。授業と同じ長さを設定することにより、すべての児童・生徒が無理なく鑑賞できている。 ● 前半は、後半の鑑賞部分をより楽しむためにその導入部とする。知識を理論として与えるのではなく、見て聞いて身体で感じることでバレエをとらえられるように工夫している。決して技術や専門的なことを教えるのではなく、ひとつのコミュニケーションツールである身体表現として、バレエを紹介する。 ● 児童・生徒たちが楽しく挑戦する部分、プロのダンサーの動きを目の当たりにして、「すごい！」と感じてもらえる部分、それらを適切な解説でつなぐことによって、魅力的な芸術として体験と鑑賞の両方を味わうことができる。 <p><u>ワークショップの質を向上させるための工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「教える」というよりも、「一緒にやってみよう」という立場で取り組んでいる。 ● 誰にでもできる簡単な部分と、すこし挑戦する部分を使い分ける。各校の状況によってもその都度判断する。ダンサーたちは常に子どもたちと一緒に身体を動かし、児童・生徒の自発的な行動を促す。 ● 教師たちの知らない側面を引き出すことが可能である。その結果、子どもたちの隠れた能力を発見し、彼らの自信につながっている。 <p>そのほか、芸術によるエデュケーション・プログラムに関する講座やシンポジウム等には積極的に参加して知識を吸収している。</p>
	<p>iii) B区分団体が行う業務について（「6. B区分の団体のみが行う業務について」参照）の具体的な実施体制</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実際の現場を把握する者が教育委員会を訪問し、これまでのワークショップや、公演における生徒・児童の反応及び教師の感想等を含めて事業の説明をするともに、学校側の状況や意見なども聞き情報交換に努める。 ② 都道府県、政令指定都市と同様に実施する。 ③ 校長会等の機会を活用し、市内の全校長に対し本公演の視察を呼びかける。 ④ 学校や教育委員会の協力を仰ぎながら、地域の新聞社等のメディアに向けた広報活動についても調査を行う。 ⑤ 合同開催は鑑賞機会の拡大を促すことから、すでに保育園、幼稚園等の受け入れや近隣地域への呼びかけなど積極的に行っている。 ⑥ 他団体の視察はこれまでも積極的に受け入れている。 ⑦ これまでに蓄積した経験や工夫は常に開示可能であり、事業の向上に貢献したいと考えている。 ⑧ 報告書作成に向けた事務局の体制は整っている。

No.2 別紙メンバー表 (A・B区分)

解説	1	小山久美
	2	愛澤佑樹
	3	秋山和沙
	4	荒蒔礼子
	5	池田武志
	6	井後麻友美
	7	石川聖人
	8	石山沙央理
	9	岩崎醇花
	10	榎本文
	11	海老原詩織
	12	岡田夏希
	13	加地暢文
	14	柏知里
	15	角屋みづき
	16	金子紗也
	17	喜入依里
	18	久野直哉
	19	鴻巣明史
	20	佐野朋太郎
	21	塩谷綾菜
	22	杉山桃子
	23	鈴木優
	24	鈴木就子
	25	関口啓
	26	田中絵美
	27	谷川実奈美
	28	玉村都
	29	飛永嘉尉
	30	富岡玲美
	31	友杉洋之
	32	仲田直樹
	33	西澤優希
	34	西原友衣菜
	35	野口熙子
	36	橋本まゆり
	37	林田翔平
	38	東真帆
	39	フルフォード佳林
	40	前田望友紀
	41	南垂紗子
	42	宮司知英
	43	森田理紗
	44	山内優奈
	45	若宮嘉紀
	46	和田瞬
	47	渡辺恭子
	48	渡辺大地

ダンサー
 <内29名>
 (一部交替出演)



第1部

バレエって
なんだろう？

第2部

舞台をみて
みよう
『シンデレラ』

第1部
バレエってなんだろう？



なん
バレエって何でしょう？

バレエは、音楽、美術、演劇とらぶ舞踊という芸術のひとつです。

そして舞踊は言葉と同じように、人間の喜びや悲しみ、愛や力を表現する手段なのです。皆さんの周りのもっと小さな子供たちを見てみてください。飛び上がって喜んだり、足をバタバタさせて怒ったりしていませんか。身振りが感情を表しているでしょう、それがかままり舞踊なのです。日本で生まれた舞踊は、能や歌舞伎や日本舞踊になり、西洋ではバレエとなったのです。

このように西洋の舞踊であるバレエは、今から400年以上前にイタリアで生まれ、バレエが大好きなイタリアのお姫様がフランスの王様にお嫁入りしたことがきっかけで、フランスに移ります。フランスでは特にルイ14世が熱心にバレエに取り組み、バレエ学校が作られ、またトウシューズやチュチュという軽やかな衣裳も生まれました。その後バレエの中心はロシアへ移り、ロシアの作曲家チャイコフスキーの音楽で「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」という3大バレエができました。

今ではバレエは世界中に広まり、フランスやロシアで生まれた古典作品とともに、時代を反映した新しい作品もどんどん作られ、多くの人々に楽しまれています。

キャスト

シンデレラ	荒崎礼子	塩谷綾葉	森田理紗	渡辺恭子	(交替出演)
王子	池田武志	加地暢文	林田翔平	(交替出演)	
姉妹	荒崎礼子	喜入依里	西原友衣菜	橋本まゆり	フルフォード佳林 (交替出演)
仙女	角屋みつぎ	渡辺恭子	塩谷綾葉	鈴木優	鈴木就子 (交替出演)
妖精たち	田中絵美	冨岡玲美	森田理紗	(交替出演)	
臣下	鴻巣明史	関口啓	和田瞬	(交替出演)	
貴族たち	秋山和沙	荒崎礼子	石山沙央理	榎木文	柏知理
	金子紗也	谷川栞奈美	野口照子	前田望友紀	南亜紗子
	石川聖人	加地暢文	久野直哉	関口啓	友杉洋之
	仲田直樹	宮司知英	和田瞬	渡辺大地	(交替出演)

第2部
舞台をみてみよう



心の中、美しいシンデレラは、いじわるな姉たちに召使のようにこき使われ毎日忙しく働いています。ある日姉たちはお城の舞踏会に招かれ、その準備に胸をときめかせています。やがて姉たちがシンデレラを一人残し舞踏会に出かけてしまうと、寂しそうなシンデレラのもとに仙女があらわれます。そしてシンデレラのみずばらしい服をドレスに変えると言いました。「魔法は真夜中の12時にとけてしまいます。忘れなさいで…」



2人の姉が到着したお城では王子を囲み舞踏会が始まっています。そこへシンデレラが入ってくると、あまりの美しさに王子はひと目で恋に落ちてしまいます。姉たちもまさかこの美しい娘がシンデレラとは思いません。幸せにつつまれて王子との踊りに夢中になってしまったシンデレラ。そこへ12時を打つ時計の音が響きます。シンデレラは慌ててお城を飛び出し、その途中靴を片方落としてしまいました。後を追った王子は残された靴を片手に、愛するシンデレラを探すことを決意します。街中を訪ね歩き探し回った末、ついに王子はシンデレラの家に行きつきます。何とか靴を履いてみようとして競ってケンカを始めた姉たちを、思わず止めに入ったシンデレラが落とされたものは…



演出・振付：柳本 稔

PHOTOS

AI Co.,Ltd. and Kyoroni Hasegawa

公益財団法人スター・ダンサーズ・バレエ団

制作

音響：Art Studio Y's
舞臺監督：廣瀬次郎

照明：山本英明

衣裳：大山美民

大道具：東宝舞台株式会社

演出補：小山鹿美

演出・振付：鈴木 稔 (第2部)

演出：小山久美 (第1部)

解説とお話：小山久美

スタッフ



BAILET PERFORMANCES FOR CHILDREN

子どものためのバレエ公演

バレエ鑑賞体験が子どもたちにもたらす心の動き



一般社団法人日本バレエ団連盟は、文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」を実施いたしました。このリーフレットは、その中で行った「子どもたちのバレエ鑑賞体験による影響に関する調査」の調査結果についてまとめたものです。

調査は2020年12月から2021年1月の期間に実施され、小学校3校のご協力のもと、合計916名の子どもたちにご回答いただきました。



令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
「新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査」

一般社団法人 日本バレエ団連盟
The Association of Japanese Ballet Companies

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12-30 芸能花伝舎2F
Tel: 03-6279-4771 Fax: 03-6279-4772
<https://japan-ballet.com>

2021年3月発行



